



関小だより

第7号 (6月)

R8.6.12

四国中央市立関川小学校

雨上がりの紫陽花がいつそう鮮やかに目を楽しませています。梅雨入りし、6月もあっという間に中旬。肌寒かったり、蒸し暑かったりと、気温の変化が大きい日が続いていますが、子どもたちは勉強に運動に元気一杯に取り組んでいます。1学期の登校日は、残り25日。今後も明るく前向きな気持ちで、学校生活を更に充実させることを願っています。

【水泳学習のスタート！！】

梅雨の晴れ間が訪れ、ようやく全学年がプール開きとなりました。1年ぶりの水の感触を楽しみ、歓声を上げながら笑顔で活動する子どもたち。これから、週に2、3時間の水泳学習に取り組みます。また、放課後の特別練習には、38名の4～6年生が参加して、泳力アップに挑戦しています。

水泳は全身運動。一人一人が自分なりの目当てを持ってしっかりと活動し、「たくましい心と体」を育むことを期待しています。



【考えが深まった！盲導犬学習会】

総合的な学習の時間に福祉をテーマに学んでいる4年生。盲導犬を連れて講師の方にご来校いただき、目が見えない生活の様子や盲導犬の役割などについて講話を聞きました。自分たちが調べたこと以上の現実的な不便や盲導犬との関係を知り、「自分たちにできることは？」を考えるよい機会となりました。



【楽しかったよ！公民館見学】

3年生は、総合的な学習の時間に、関川地域の魅力を探求しています。公民館の見学では、館長さんに施設の様子や利用者などについて教えていただきました。また、関川の魅力の一つとして、土居音頭や炭坑節、一絃琴にも挑戦。地域の良さをたっぷり味わう活動になりました。今後も体験的な活動を通して、学びを深めていきます。



【資源回収 お世話になりました！】

雨天にも関わらず、大勢のPTA役員の皆様、地域の皆様にご協力いただき、資源回収を行いました。中には、積極的にお手伝いをしている子どもたちの姿もあり、「学校を大切に作る心」が受け継がれていることにも感動しました。また、地域から多くの資源をご提供いただいていることにも感謝しています。本当にありがとうございました。収益を子どもたちの教育活動に有効活用させていただきます。

